

7. 生産・出荷・在庫

生産は、持ち直しの動きがみられる。

(前年度比、前年同期(月)比、[]内は暦年前年比、()内は季調済前期(月)比、%)

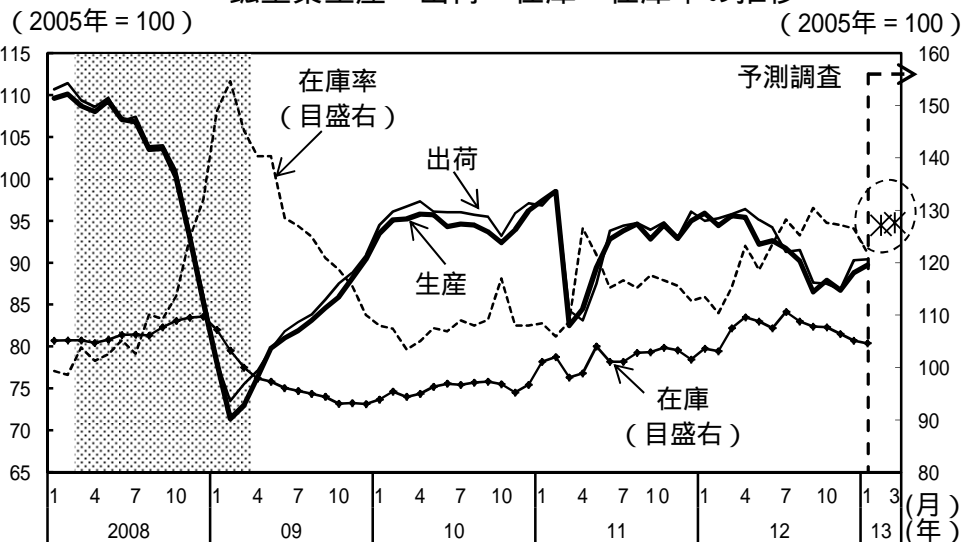
	[2011年] 2011年度	[2012年] 2012年度	2012年 4 - 6月	7 - 9月	10 - 12月	2012年 11月	12月	2013年 1月	(予測調査)
鉱工業生産	[2.3] 1.0	[0.3]	(2.0) 5.3	(4.2) 4.6	(1.9) 5.9	(1.4) 5.5	(2.4) 7.9	p (1.0) P 5.1	(2月 +5.3) (3月 +0.3)
鉱工業出荷	[3.5] 2.0	[0.1]	(0.2) 8.0	(5.4) 4.5	(2.1) 6.0	(0.8) 5.6	(4.0) 7.5	p (0.1) P 3.4	
鉱工業在庫	[3.8] 9.6	[3.5]	(0.0) 6.3	(0.3) 4.8	(2.5) 3.5	(1.2) 3.1	(1.2) 3.5	p (0.5) P 0.9	
生産者製品在庫率指数 (2005年 = 100)	[112.7] 115.3	[126.5]							
製造工業稼働率指数 (2005年 = 100)	[85.4] 87.4	[87.8]							
第3次産業 活動指数	[0.1] 0.7	P [1.4]	(0.0) 2.2	(0.1) 0.5	P (0.4) 0.7	(0.5) 1.0	P (1.1) 0.2	P (1.1) P 0.3	

(備考) 1. 鉱工業在庫の暦年は年末値、年度は年度末値、四半期は期末値。Pは速報値。

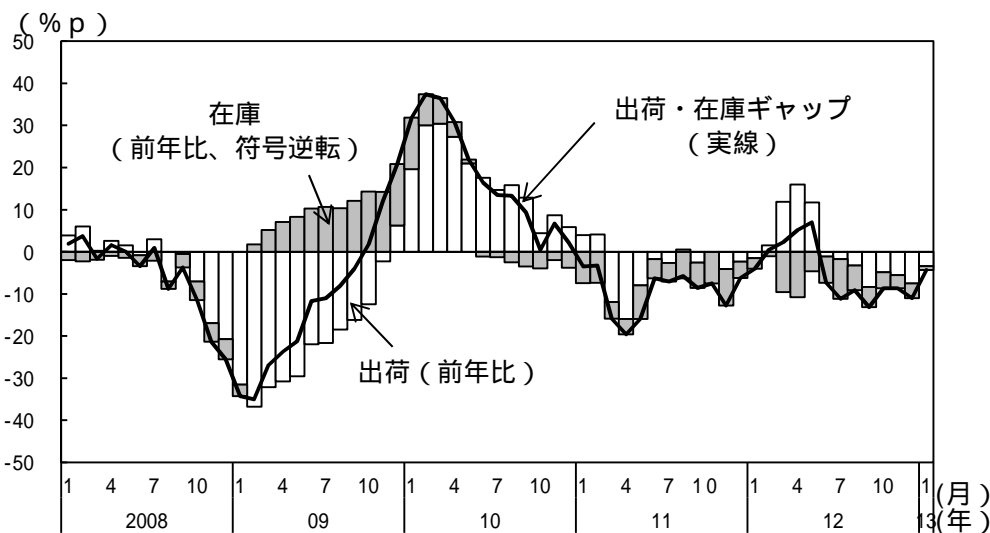
2. 生産者製品在庫率の暦年、年度、四半期は期末値(季節調整値)。

3. 製造工業稼働率の暦年、年度は平均値(原数値)、四半期は平均値(季節調整値)。

鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移

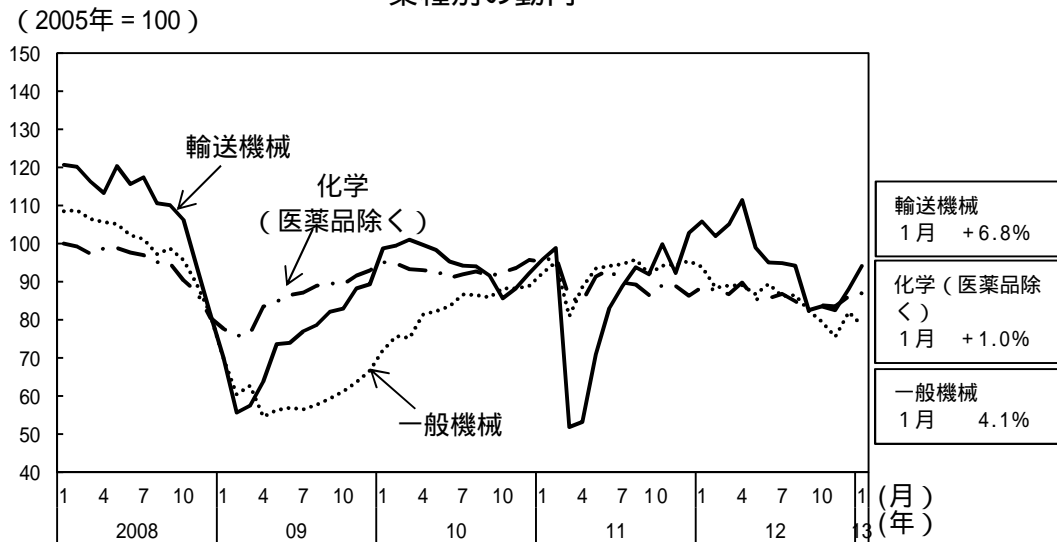


出荷・在庫ギャップの推移

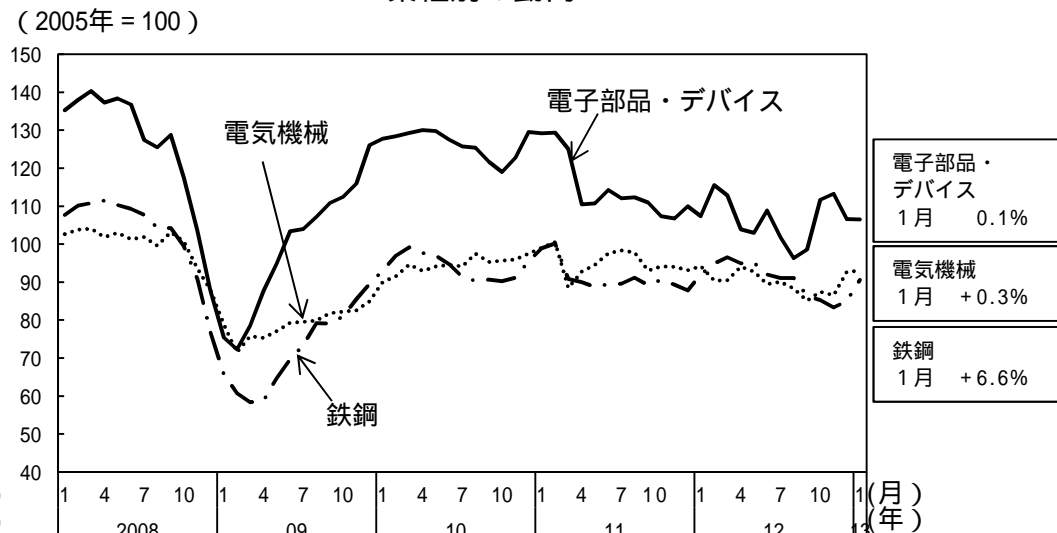


(備考) 上図：経済産業省「鉱工業指数」により作成。
季節調整指数(2005年=100)。シャドー部は景気後退期を表す。
下図：経済産業省「鉱工業指数」により作成。
出荷・在庫ギャップ = 出荷(前年比) - 在庫(前年比)

業種別の動向



業種別の動向



(備考) 上図、下図：経済産業省「鉱工業指数」により作成。